

NPO 法人 かながわ環境カウンセラー協議会 (KECA)

**KECA ニュース =No.52=**

【巻頭言】

## 第18回 KECA 総会を終えて

理事長 木村信幸

第18回(2014年度)KECA通常総会が5月17日(土)、波止場会館4階大会議室において開催され、会員各位のご協力により無事終了することができました。この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

当協議会は昨年3月に任意団体として設立15周年を迎え、多くの方々のご協力を得て「設立15周年記念誌」を発行したことは先刻ご承知のとおりです。また、本年11月にはNPO法人として発足15周年を迎えます。昨年度に続き今年度もこれからの10年、15年先を見据えた活動の方向性を探る重要な節目の年となります。そういったことから、昨年度は関係各位のご協力を得て2014年度を初年度とする中期計画(案)を策定しました。

その概要につきましては理事会に報告していますが、初年度は総会で承認された第3号議案2014年度事業計画書の活動方針に基づく主要項目についての取組を推進いたします。取り分け「健全財政の維持について」はKECAにとって最重要課題の一つであり、3年掛けて単年度収支を黒字化し、維持する計画であります。そのため全会員からメンバーを募集して検討会を立ち上げて集中的に施策を検討する予定で、現在準備を進めています。皆様のご協力をいただくと共にご期待いただきたいと思います。

私達の活動は、申すまでもなく大きくは支部活動や委員会活動に集約されます。前者は地域に密着した活動であり、後者は専門性を活かした事業収入につなげ得る活動とも言えるでしょう。委員会活動の一端を支部で受け持ち、より充実した活動にグレードアップすることもできます。何れの活動も環境経営というキーワードでくることができるといえる時代が来たことを実感します。そして打って出る積極的な姿勢、即ち攻めの姿勢が一層大切になってきたのではないのでしょうか。何事もやってみなければ分かりません。やらないで後悔するより、やって後悔する方がよいと言いますが、やみくもにやるのではなく十分なコミュニケーションを図りながら熟慮してやる必要があることは言うまでもありません。

EA21の審査でよく経験することですが、相手(企業)の欠点なり弱点と言ったマイナス面はよく目につき直ぐに指摘できますが、長所なり強みと言ったプラス面は探さないと中々見つかりません。同様に人を批判することは容易ですが、褒めることは難しいものです。この難しいことをやってのけられるのがコミュニケーションの達人ではないのでしょうか。

達人が増え、支部や委員会新しい企画を推進する動きも出て来ています。新しい顔が加わって加速がつけば更に前進することでしょう。この流れを絶やさぬように推進して欲しいと願うばかりです。

番外編の一つ。総会後の懇親会の余興で、4人の男声二部合唱により昔懐かしい唱歌が披露されるという一幕がありました。何を隠そう筆者も一員に加わっていましたが、俄か仕込みの合唱団とは言え経験豊富なリーダーのもと、それなりに練習をして臨みました。出来栄は皆様の評価に委ねますが、新しいことをやってみようという発想に敬意を表したいと思います。



# 第18回（2014年度）通常総会 報告

事務局長 河野健三

第18回通常総会は5月17日、昨年と同じ波止場会館において会員46名の出席を得て開催されました。当日は世界トライアスロン横浜大会の初日にあたり、参加者の方々は世界のトップアスリートの姿を目の当たりにされた方も多かったのではないかと思います。

## 1. 通常総会

河野事務局長より、出席者への委任状を含めて、総会が成立した旨報告があり、下記の議長、書記、議事録署名人の選出を行って議事に入りました。

[正会員数：128名、出席者数89名（出席者46名、書面表決者21名、委任状22名）]

- ・議長：加藤幸男氏（川崎支部） ・書記：森田守氏（横浜支部）、高山進氏（県央支部）
- ・議事録署名人：武内健三氏（相模原支部）、水野房夫氏（横浜支部）

□議案の審議では

(1) 第1号議案「2013年度事業報告」、第2号議案「2013年度活動計算書及び監査報告」について木村理事長から報告・説明があり、監査結果については嶋田、大竹両監査人から報告がありました。会場からの質疑を行った後、採決し満場一致で承認されました。

(2) 第3号議案「2014年度事業計画」、第4号議案「2014年度活動予算書」については木村理事長から説明がありました。質疑が行われ3名の反対がありましたが、賛成多数で承認されました。

(3) 第5号議案「定款の変更」について、木村理事長から詳しい説明がありました。

- ・変更理由：「環境の保全を図る活動」に加えて「経済活動の活性化を図る活動」を行うため
- ・変更点①：[特定非営利活動の種類] 第4条 次の活動を行う。

(1) 環境の保全を図る活動

(2) 経済活動の活性化を図る活動

- ・変更点②：[事業] 第5条 次の事業を行う。

(1) 環境経営支援事業

(2) 環境教育事業

(3) 地域の事業者に対する支援事業

(4) その他、本法人の目的を達成するために必要とする事業

活発な質疑が行われ、賛成88名（出席賛成46名、委任状22名、書面委任賛成20名）、反対1名（出席反対0名、書面委任反対1名）で可決承認されました。

[可決に必要な人数]

出席正会員（委任状を含む）89名×3/4=67名以上

(4) 第6号議案「監事一名退任に伴う新監事選任」は、退任：嶋田和夫氏（湘南支部）、新任：古川輝夫氏（県央支部）が満場一致で承認されました。

なお、議案審議終了後、河野事務局長より、山田徹郎理事と守谷喜芳理事が健康上の理由で2013年度末をもって退任されたことが報告されました。

□以上で審議を終了し議長が解任された後、河野事務局長より新入会員5名の紹介があり、出席した4氏に前に出て



通常総会の会場風景



期待される新入会員の挨拶

もらい、自己紹介・抱負を述べていただきました。今後のご活躍を期待します。

## 2. 特別講演会

休憩後、特別講演では神奈川県 環境農政局 環境部 大気水質課長 小林幸文（ゆきふみ）氏をお迎えし、「神奈川県の大気・水環境の現状と改善の取り組み」をテーマにお話していただきました。小林課長は大気・水環境の保全、廃棄物、工業保安、環境アセスなどの分野を担当されており、環境省勤務も経験された方です。



小林課長の特別講演

人間の生活には欠くことができない空気と水についてのお話があり、特に水循環の課題としてあげられた「降水量は長期的には減少傾向」とのお話は、水資源に恵まれている日本への警鐘のように聞こえました。

最後の質疑では、参加者から質問が相次ぎましたが時間が足りず、この後の懇親会に小林課長も参加されるということで打ち切り講演会を終えました。

## 3. 交流懇親会

その後1階のシーサイドラウンジ「SaLa」に会場を移し、交流懇親会を開催いたしました。ご講演いただいた県の大気水質課長 小林幸文氏も参加され、女性会員 [千葉さん（横浜支部）、早野さん（西湘支部）] を含めた35名が参加し、武内理事（相模原支部長）の司会により懇親会が進められました。

総会の大役を終えた木村理事長の挨拶の後、小林課長からも挨拶をいただいて、乾杯のあとは各テーブルに分かれて懇談の輪ができました。支部によっては支部会議の後、ノミネーションを行っているところもありますが、懇親を兼ねた総合研修会Ⅱの参加者も少なく、会員同士がフランクに話し合う機会が少ない KECA ですので、飲み放題のアルコールをいただいて今日は思う存分お話ができたようです。

宴たけなわとなったところで、譜面を持ってマイクの前に立った4名の KECA（初老？）合唱団が、みなさんの前に懐かしい唱歌をお披露目してくれました（1ページと会員投稿欄参照）。誕生間もないのに結構ハマっていていいですね、みなさん一緒に口ずさんでいました。楽しい KECA でなくちゃあ。

高橋副理事長が中締めを行った後も、時間まで交流懇親が続いていました。

以上



総会後の和やかな交流懇親会の会場風景

## 中期計画検討会の概要報告と新規事業への期待

事務局長 河野健三

中期計画検討会は昨年12月から本年5月まで8回の検討会を持ち、その結果をまとめて5月の理事会に報告しました。

検討結果の内、優先度の高い6項目の概要は次の通りです。

- (1) 定款の見直し：定款第3、4、5条の改訂について、第18回通常総会で提案しました。
- (2) 健全財政の維持：経常収支の黒字化を目標とし、2016年度の経常収支ゼロを目指します。  
 具体策については、現在メンバーを募集中の「健全財政を目指す検討会」に委ねますが、
  - ①収入増（寄付金、賛助金など）
  - ②支出削減（管理費、報酬と支払基準見直しなど）
 について具体的な提案（理事会へ答申）が示されることを期待しています。  
 また、助成金対象プロジェクトの取組についても検討して参ります。
- (3) 事業収益の確保と経営基盤の安定化を目指した事業者に対する環境経営の指導・支援  
 環境管理委員会、環境経営委員会、化学物質委員会、エネルギー研究会による収益事業の共同推進（営業活動の実施）を行います。
- (4) 会員サービスの向上と会員増
- (5) 組織・運営の改革
- (6) 行政・関係団体との協働

これらの項目の中で喫緊の課題は次の2つのテーマです。

すなわち、巻頭言でも述べられている通り（2）健全財政の維持と、（3）それを達成するための事業収益の確保と経営基盤の安定化を目指した事業者に対する環境経営の指導・支援です。

（2）については前述の通りで、ここでは（3）環境経営の指導・支援について述べます。

KECAの財政基盤はEA21の指導事業により成り立ってきました。しかしながら、2010年をピークとして減少傾向にあります。この傾向に歯止めをかけ、挽回する活動が急務であり、環境経営の指導・支援事業の促進が必要です。今までのEA21の普及活動を始め、BCPなど様々な新規事業が始まっております。これらの活動が定着しKECAの財政基盤が盤石になることが期待されます。

また、KECAとしては100件以上におよぶ審査事業者に対するサービス提供等の実績を活かし、これまでの顧客に「KECAのファンになっていただく取組み」が最も重要であると考えています。

微力ながら努力して参りますが、全会員のご協力よろしくお願いたします。

## ECU（環境カウンセラー全国連合会）関連の報告

事務局長 河野健三

### 1. 役員の改選と新役員の就任

ECUの平成26年度通常総会が6月27日（金）、東京都杉並区“あんさんぶる荻窪”で開催され、今年度の新役員34名が選任されました。

その後、新理事長に佐々木進市氏、副理事長に山下満氏、今井秀雄氏、藤本晴男氏、片亀光氏、専務理事に今井秀雄氏が選任され、後日、常務理事として竹本秀人氏、古里明瑠氏、利根川瑛氏、我田美福氏、酒井衛氏の5名が任命されました。

KECA関係では、これまで副理事長として活躍されてきた今泉奉氏（西湘支部）が退任され、木村信幸氏（理事長、横浜支部）が理事再任、河野氏（事務局長、横浜支部）が新役員（理事）となりました。

## 2. ECU理事長表彰（環境保全功労賞）

総会終了後、今年度の ECU 理事長表彰が行われ、KECA からは環境保全功労者として、高橋信氏（元理事、相模原支部）、照沼俊夫氏（理事、川崎支部）、杉浦弘祐氏（理事、県央支部）、福田昭三氏（理事、相模原支部）、木村信幸氏（理事長、横浜支部）の 5 氏が表彰され、出席した杉浦、福田、木村氏が鈴木富雄前理事長から表彰状をいただきました。おめでとうございます。長年の KECA 運営へのご尽力感謝申し上げますとともに、今後ともよろしく願いいたします。ありがとうございました。なお、今年度 KECA からの被表彰者が多かったのは、昨年度申請漏れがあったため、ご迷惑をおかけいたしました。



鈴木前理事長から表彰状をいただく  
福田昭三氏（相模原支部）



鈴木前理事長から表彰状をいただく  
木村信幸氏（横浜支部）

## 第 20 回記念市民環境活動報告会

＝KECA 環境教育委員会が主メンバーとして活躍＝

今年で 20 回目を迎えた市民環境活動報告会は「～新たな飛躍～地球の明るい未来を目指して～」をキャッチフレーズに、平成26年3月1日（土）、かながわ県民センター 2 階ホールにおいて開催されました。

20 回記念ということで、午前 10 時から開会し、一般の口頭発表は午前に 5 件、午後は内田裕久氏（株式会社ケイエスピー社長、東海大学工学部教授）による基調講演『3.11 後の日本のエネルギー政策の現状と問題点』の後に、2 件の発表が行われました。

KECA としての活動報告はありませんでしたが、横須賀市環境教育指導者として高橋副理事長（横三支部）が「環境教育指導者による保育園の「エコ育」の取り組み」について、また全国森林インストラクター神奈川会として田中真次氏（横浜支部）が「神奈川の身近な自然を訪ねて」の口頭発表を行いました。

口頭発表に続いて行われたテーブルセッションでは、口頭発表者を交え、①再生エネルギー、②環境学習、③自然観察、④新ライフスタイルの 4 テーマについて、活発に意見の交換が行われました。特に④新ライフスタイル部門には、早野さん（西湘支部）が大学で指導しているカザフスタンからの女子留学生も参加し、デスクッションに加わり注目されました。

報告会の最後は、KECA 木村理事長が閉会の挨拶をされて、16 時 30 分、成功裡に終了いたしました。

報告会には多くの KECA 会員が来場し、会場設営にも積極的に協力するとともに、口頭発表者に対する質問やテーブルセッションでの意見交換などに積極的に参加し、大いに盛り上げました。なお、KECA 環境教育委員会からは、5 名が実行委員会に参加し、企画・運営にあたりました。（記：岡本正義）



熱心な討議が行われたテーブルセッション  
＝④新ライフスタイル部門＝

# 「市民活動フェア2014」の概要報告

事務局・企画担当

## 1. 概要

3月8日、9日、「市民活動フェア」は、かながわ県民活動サポートセンターの開館記念行事として開館翌年の1996年に第1回目が開催されました。それ以後、2011年を除いて（3.11東日本大震災のため）毎年、サポートセンターにおいて実施されています。

この催しの趣旨は、このセンターを活動場所として利用している、NPO法人、ボランティア団体をはじめ、多くの市民活動団体、グループなどが、この催しをきっかけに一堂に集い、出会いや交流を通して、更なる活動の発展を促進していくことにあり、今年で17回目となります。KECAは2000年から参加しており、今年で15年目になります。

## 2. 開催テーマ

「市民活動、交流と協働『深めよう、つなげよう。』  
今日の活動をみらいのために!!」

## 3. KECAの出席

### (1) ブース展示（10階交流広場）

- 1) 日時：3月8日（土）、9日（日）、10時～16時
- 2) パネルなどを展示、体験コーナーを設置した。

### (2) 展示内容

- 1) 省エネ体験模型「省エネ家族」（人のいない部屋の電気を消すと一家団らんは省エネ？）  
IPCC 第5次評価報告とウォーム・シェア（暖房消して暖かいところに集まろう）のパネル（ポスター）等（湘南支部が担当：嶋田氏、西村氏）
- 2) こども集めの「蝉しぐれ」（カップ麺の空き容器利用の蝉声発生器）、「ヘロンの噴水装置」（ペットボトル利用の無動力噴水）など（横浜支部担当：大野氏）
- 3) 牛乳びんのリユース活動の一環として、容量が同じで約半分の重量になった軽量牛乳びんの展示、3Rのポスター展示など

### (3) 福島環境カウンセラー協会の長澤会長による「忘れないで ふくしま」の講演

8日（土）の午後、10階の実行委員会ブースにおいて、南相馬市で震災の語りべとして活動されている福島環境カウンセラー協会の長澤会長による「忘れないで ふくしま」の現地報告があり、多くの方が聴講してくれた。講演終了後、KECAブースでKECA会員との交流を深めた。

### (4) 1階では「がんばろう ふくしま！」の応援店である会津美里町の21八木沢生産組合（代表川原隆康氏）が安心・安全な農産物を販売し、多くのKECA会員が購入してくれた。

前日（7日）からの会場設営、展示説明、撤収作業等にご協力頂いたKECA会員の皆様のご協力に感謝します。ありがとうございました。なお、KECAの参加メンバーは延べ29名でした。



KECAブースの全景



長澤会長を囲んで



長澤会長の講演



八木沢生産組合の売店

# ～現地へ出かけ、見て、聞いて、食べる～

## 福島復興支援ツアー

木村 信幸（理事長・横浜支部）

### 1. はじめに

KECAの有志で福島を訪れるのは、大震災の年以来今回で3回目となりました。最初の訪問は東日本大震災の5ヶ月後（2011年8月10、11日）であり、ある種の使命感を伴う特別な思いがありました。2回目の訪問となった昨年4月は、福島復興再生事業の一環として開催されたイベントへの出展参加でしたが、今回は同様イベントPART IIへの出展なしの参加となりました。

あの震災で大きな被害を受けた東北3県の中でも、福島は他の2県とは異なる特別な被災県です。「福島の復興なくして日本の再生はない」と言われます。原発事故から3年以上経った今でも13万人以上の住民が避難生活を強いられています。20キロ圏内を中心に10の市町村では政府による避難指示が続いており、多くの地域ではいつ自宅に戻れるのか目途さえ立っていません。

そんな状況下にある福島の復興再生は、全国民共通の願いのほず。ささやかですが復興再生に資するよう福島の地に足を運んで観光し、温泉に入る。そして復興再生が少しずつでも進む様子を自分の目で確かめ、現地の人たちと心を通わせることは（環境）カウンセラーとして相応しい行いではないかと言う思いが今回の旅にはありました。以下、2日間の旅を大まかに辿ってみたいと思います。

### 2. 第1日目は南相馬訪問前の観光

4月19日、一行8名、小型バスで横浜駅西口（天理ビル前）から出掛けることになりました。旅程は福島環境カウンセラー協会の長澤会長に手配していただいた「祭屋湯左衛門」（飯坂温泉旅館）まで。途中、福島市郊外の花見山公園でお花見を堪能しました。

当初の予定では、花見山公園から飯坂温泉に直行するはずでしたが、花見山公園から合流された先崎さん（福島県出身）の勧めもあり、磐梯吾妻スカイラインまで足を延ばすことになりました。先崎さんのガイドよろしく、雪の残る“つばくろ谷”を見物したり、浄土平（標高1,600m）駐車場に車を止め、吾妻小富士（標高1,707m）の火口壁稜線まで登って景観を楽しむことができました。

そこからは宿泊地の飯坂温泉に直行です。老舗旅館「祭屋湯左衛門」の美味しい料理に舌鼓をうちながらの宴会では、アルコールの助けもあって、ざっくばらんな意見が飛び交い参加者同士の親睦を深めることができました。



磐梯吾妻スカイラインで

### 3. 復興イベントに参加

2日目（20日）、8時過ぎに宿を立ちましたが、到着が少し遅れて10時からの「道の駅南相馬」での開会式に間に合わなかったのは残念でした。国道115号線を通って相馬に入りましたが、途中嶋田さん持参の線量計が高い数値を示した箇所がありました。

イベント会場の「道の駅南相馬」では、長澤さんはじめ福島EC協会の皆さんと再会したものの、ゆっくり話をする間もなく、まずは被災地巡りに出掛けることになりました。

バスに同乗して案内して下さったのは、ご当地で建築士会事務局長をされている岩橋さんで、主として原町区、小高区の被災地を中心に昼までの1時間半ほどガイドしていただきました。福島原発から20キロ圏内では、昼間の立入はできても寝泊まりはできません。たまに片付けなどしている住民の姿が見られましたが、夕方には避難先に戻らなければならず、つらいことです。

かつては山のように積み上げられていたガレキは姿を消し、所々に津波で流された重機や仰向けの車があるまま残されており、住めなくなった民家が未だに無残な姿をさらしていたのが印象的でした。

ガイドの岩橋さんは市役所等から入手したデータをもとに津波の被災状況をまとめ、各地区における津波浸水到達距離、震災前世帯数・人口と直接死亡者数などについて解説してくださいました。

私たちは足を延ばさなかった鹿島区を合わせた3区合計の人的被害は

- ・(直接死) 636人 + (関連死) 452人 = 1,088人 (南相馬市人口の1.7%)
- ・建物被害は全壊 5,820棟、1,231世帯 (同世帯数の5.5%) 等です。

イベント会場に戻った私達を待っていてくれたのは、道の駅調理室での手作り郷土料理でした。野菜の煮つけや種々の漬物が美味しく、凍天(しみてん、凍み餅を水でもどしドーナツ生地でくるんで揚げたもの)と称する揚げ物、それを話題に現地の人たちとの会話、共に格別の味わいでした。

福島EC協会の皆さんを初め、愛知EC協会の皆さん、EC千葉の方とも交流ができたのは何よりでした。イベントの実行委員長である長澤さんは忙しいため、邪魔をしないようにするのが精一杯の気配りでした。

そしてあっと言う間の4時間でしたが、名残惜しい「道の駅南相馬」に別れを告げ横浜への帰路につきました。

今回の福島行は、正に「現地へ出かけ、見て、聞いて、食べる」ことを実践した旅でした。そしてまた一つ交流の輪が広がった旅でもあり、環境カウンセラーとしての今後の活動に役立てることができる体験旅行であったことを確信した次第です。

今後ともこの種の交流が続くことを願って止みません。できるだけ多くの会員が参加されることを期待します。

(4月30日記)



写真上:「道の駅・南相馬」にて、福島・名古屋・神奈川の環境カウンセラーが一緒になって記念撮影  
 写真右上から、①荒涼たる津波被災現場、  
 ②道の駅にてお昼のおもてなし(無料)  
 ③野外会場での環境カウンセラー同志の交流風景

## 委員会報告

## 環境教育委員会

委員長 岡本 正義

## 1. 委員会の開催

開催日：毎月第4月曜日 18:30～ フクシア（横浜市西区福祉保健活動拠点）

このところ委員の数が増え、毎回8～10名が出席し、委員会としての活動計画について協議するほか、各委員の活動現況紹介や共通課題などについて活発な話し合いが行われ、情報の共有を図っている。

- (1) 環境教育インストラクター養成セミナー（11/29、30）、同フォローアップセミナー（10/11）
- (2) 総合研修会 I（8/30）、環境カウンセラー養成講座（7/20）など

## 2. 対外活動報告（予定）

## (1) 川崎市立麻生小学校で出前授業を実施

神奈川県環境・エネルギー学校派遣事業の委託で2013年12月13日と19日に麻生小学校5年生4クラス152名に「木に触って、森、木の働きを知ろう」をテーマにKECA会員10名が講師となり、授業を実施した。森が水を貯え、水をきれいにするのを模型実験で体験した後、学校近くの公園に行き、幹の太さを測り、CO<sub>2</sub>吸収量を出し、聴診器で木の音を聴き、木が活着していることを実感した。公園マップにCO<sub>2</sub>吸収量に応じたカラーマークを貼り視覚化すると共に、児童全体が排出する呼気のCO<sub>2</sub>量や家庭から排出されるCO<sub>2</sub>量と比較して、森、木の働きを理解した。各クラス6班に分かれて各班に講師が一人ずつ付き添ってきめ細かく児童を指導した。学校側からは大変喜ばれ、感謝された授業になった。



木の太さを測り、聴診器で音を聴いている



講師がアドバイスしながらまとめた

## (2) 相模原市立若松小学校の出前授業

同じく県環境・エネルギー学校派遣事業で池田氏が担当講師として、7月8日に授業を実施する予定である。テーマは「生物を主体にしたフィールド体験学習」で、現地の下見、学校との打合せを6月28日に予定している。授業当日の参加者は池田氏のほか、田中・大野・河野・川村・嶋田の5名が協力する。

## (3) 横須賀での小学校環境教育、保育園での「エコ育」

横須賀市環境教育指導者派遣事業で、KECA横三支部会員3名（高橋、中村、遠田）が小学校、保育園での出前授業を実施しており、6、7月に集中した。（補助指導者：横須賀「水と環境」研究会会員）

[市立小学校]・池上小学校4年生4クラス（6/10、6/20）、・望洋小学校3年生3クラス（6/19）

・長井小学校特別支援学級7名（7/11 予定）

[市立保育園等]・長井婦人会保育園（6/12）、・ハイランド保育園（6/17）、・追浜保育園（6/23）

なお、6月23日の追浜保育園の「エコ育」には、田中真次氏（横浜支部）が視察に見えられたが、「水の体験（遊び）」を手伝ってもらい、園児（3～5歳児）と楽しく過ごしてもらった。（追記：高橋）

[委員会報告]

## 環境経営委員会

委員長 近藤勝養

2014年の主な対外活動を報告します。

### 1. BCP（事業継続計画）構築支援活動

東日本大震災（2011年3月11日）以降、地震等の大災害時における企業の対応が、企業のみならず、地域社会にとって、重要であることが認識されています。今後も地震大国である日本は、首都直下型地震や南海トラフ地震が起こり得ます。国や地方自治体でも、BCP構築及び中小企業への構築支援を推進しています。

当委員会も企業の事業継続が最大の環境貢献との認識のもとに、活動を進めてきました。2013年度には4社の構築を支援しました。2014年度も支援資料の充実、セミナーの開催により、活動を強化していく予定です。次回のBCPセミナーは11月7日（金）を予定しています。

### 2. eco検定受験準備セミナーの開催

東京商工会議所の主催する「eco検定」はすでに30万人が合格し、エコピープルとなっています。この検定が求める広範囲な環境知識は、企業の環境経営を推進するのに大いに役立ちます。

5月31日（土）に「フクシア（横浜駅東口徒歩7分）」にて4回目のセミナーを開催しました。今後、年2回のeco検定の受験準備セミナーを継続します。次回は10月19日（日）を予定しています。



eco検定試験セミナーの講義風景



### 3. 企業内での環境経営セミナーの開催

6月2日に大手薬品会社の研究所で開催された環境週間セミナーに、KECA環境経営委員会から講師を派遣しました。

今後も企業へ出向き、環境経営に関連するセミナーを実施する計画です。

[右の写真]

盛況なセミナーの会場風景



[委員会報告]

## 第9回 レスポンシブル・ケア川崎地区地域対話に参加して

化学物質委員会 石井 員良

2014年1月25日、川崎商工会議所で、「第9回レスポンシブル・ケア川崎地区地域対話集會」が開催されました。この地域対話集會は、隔年毎に開催され、今回で9回目を数えます。参加企業は、川崎市の臨海部（扇町、千鳥町、浮島町）に工場がある、旭化成ケミカルズ（株）川崎製造所、花王（株）川崎工場など計9社です。参加者は、工場周辺の町内会住民及び川崎市でした。この対話集會の司会・進行は、化学物質

委員会副委員長である中山育美氏（川崎支部、財団法人日本環境衛生センター勤務）が担当されました。

対話集会の前に周辺住民に対する事前アンケート調査（回答者：28名）が行われ、「工場の見学をしてみたい」、「工場で作っているものが知りたい」、「企業の取組が知りたい」が、多くの住民からの意見でありました。企業の取組については、半数以上の方が、企業の地震対策、防災対策について不安を持っていることが分かりました。

住民に対する事前アンケート調査結果を受け、対話集会の主な内容は、2011年3月11日に発生した東日本大震災後の各企業の地震・津波対策及び川崎市の防災体制（地震津波対策）の紹介でした。

まず、川崎市より、川崎市における東日本大震災の被害の報告、国における減災対策の方向性と川崎市の防災対策の取組状況（川崎市防災マップ、津波ハザードマップ等）が紹介されました。

続いて、各企業の地震・津波対策（液状化対策、護岸改修工事、屋外タンク貯蔵所の津波対策、津波による浸水対策等）が紹介され、非常に興味深い内容でした。

特に、興味深かったのが、企業の枠を超えた共同防災訓練と企業の防災体制の充実でした。実際に震災が発生した時の実力は不明ですが、日頃の準備に怠りがない姿勢に頼もしいものを感じました。

各企業の取組の紹介の後、住民との質疑応答がありました。

事前アンケート調査でも示された住民の意見に対し、十分な回答が得られなかったように感じました。企業、川崎市の地震・津波対策の内容は分かりましたが、実際に震災が発生した時の効果について十分安心できるレベルには達していないと感じました。

例えば、情報の共有により減災を図るという川崎市の説明に対し、住民から、住民への震災時情報連絡体制の不備についての意見があり、川崎市より、広報車による周知、消防・警察による周知との回答がありましたが、不十分であり、まだまだ、防災体制・防災計画を練って欲しいと感じました。

このような対話集会は、各地で開催されています。各自治体のHP及び日本化学工業協会などの業界団体のHPで開催日が掲載されますので、ぜひとも参加し、知見を広められることをお勧めします。

#### \*レスポンシブル・ケア（Responsible Care）責任ある配慮

1985年にカナダで始まった。化学物質の製造者または取扱事業者が自己決定・自己責任の原則に基づいて、化学物質の開発から廃棄に至るまでの全ライフサイクルに渡り環境・安全・健康面について対策を行う自主管理活動。（出典：第9回レスポンシブル・ケア川崎地区地域対話発表予稿集 レスポンシブル・ケア用語集）



対話集会の講師陣

## 支部 報告

＝横須賀三浦支部＝

### ～第三海堡遺構見学とクサフグの産卵観察会～

横須賀三浦支部（支部長代） 高橋 弘二

首題の見学・観察会をグリーンタフ（神奈川県自然観察指導員連絡会）で私が企画し案内することになったので、KECAの横三支部会員および横浜支部会員に参加を呼び掛けて実施いたしました。

参加者：グリーンタフ 10名、KECA 会員 4名（横三支部：高橋、中村、横浜支部：木村、村井）。

クサフグの産卵は5月下旬から7月上旬の満月、新月の2、3日後の満潮1時間前頃に行われる。折角だから14時追浜駅に集合し、クサフグ産卵の時間まで、第三海堡の遺構、予科練発祥の地・貝山緑地を見学した。第三海堡は東京湾防衛のため、水深40mの航路中央付近に築造されたが、関東大震災で損傷し、使用されることなく航路の邪魔者となっていたため撤去し、貴重なコンクリート構造物を地上保存したものである。平日は公開されていないが、管理NPO法人にお願いして解錠してもらい、解説していただいた。

クサフグの産卵は、満潮（18:45）の1時間前頃から、石積みの岸辺に数 1,000 匹のクサフグが集まってきて行ったり来たり、やがて岩に乗り上げ身を寄せあったかと思うと激しく音を立ててもみ合って（産卵・放精）、海面が白く濁った。地元自治会も観察会を開いており、岸辺は数 100 人の見学者で賑わっていた。



第三海堡の遺構の展示場

予科練誕生地の碑

クサフグの産卵が始まった

[支部報告]

＝湘南支部＝

～「ちがさき環境フェア 2014」に参加～

湘南支部 小山 稔

去る6月14日（土）、恒例となった「ちがさき環境フェア 2014」が市役所分庁舎および中央公園で開催された。前日までの梅雨空が晴れあがり、真夏の太陽がまぶしい好天に恵まれ、たくさんの親子連れ、若者、高齢者が環境保全への思いをもって集まったフェアであった。

分庁舎会場では、服部市長のあいさつの後、市内の中学校2校の環境活動報告「スクールエコアクション」の発表に始まり、終日パネル展示やワークショップが行われた。また、中央公園では電気自動車試乗、地産地消のエコマルシェや文教大学湘南吹奏楽部ほかの楽しいエコステージが行われた。フェア参加団体は、市民団体、企業、環境行政機関や大学など67団体、来場者約2000名であった。

KECA 湘南支部は、2006年からこのフェアに参加している。今年は展示コーナーで、KECAの活動紹介とともに、70年前、40年前、現代の暮らしに使われた様々な道具の画像をパネルに貼り付けるクイズや家電製品の年間電力消費量の大きい順に並べるクイズなどを行った。高齢者も子供たちも暮らしの変遷を知る良い機会になった。またワークショップ（体験コーナー）のブースでは、例年好評のキッチン実験室や匂ちゃん・変わり絵などを行った。紙面の都合もあり、今回はキッチン実験室の様子を簡単に紹介する。



KECA ブースの展示物に見入る



ワークショップ「キッチン実験室」

この実験は、①イソジン（ヨウ素剤）を使って食材中のデンプンを探す、②ぶどうジュースなどに含まれる色素アントシアニンの酸性・アルカリ性での色の変化を見る、③ワカメやホンダワラの褐色（2つの色素）

が熱湯で緑色に変わる様子などを観察して、それぞれがどうなったかを記録してもらい、色の変化の理由について解説するもの。

予め時間を決めて午前・午後1回45分間の実験をする予定であったが、スタンプラリーポイントの対象であったこともあり、訪れる子どもたちが多く、担当の嶋田さん、横浜支部から応援に駆け付けてくれた大野さんと筆者は、休む間もなく子供たちや保護者の方への実験指導や説明対応などに追われるてんやわんやの約3時間であった。

理科実験が大好きという子どももおり、夏休み自由研究のヒントになったのではないのでしょうか。

## [支部報告]

### ＝相模原支部＝

## ～自然観察会の開催、さがみはら環境まつり出展～

相模原支部長 武内健三

### 1. 支部定例会

支部の定例会議は隔月に1回の割合で開くことを原則にしています。主に「相模原市立環境情報センター」の活動室で開催し、理事会等の報告、年度の活動計画・実績の報告と審議、自然観察会などの活動事業と環境問題について意見交換を行っています。

### 2. 主な支部活動

#### (1) 有志による自然観察会

ギンランは、日本各地で絶滅が危惧されているラン科の多年草植物で、近い将来に野生では見られなくなってしまう可能性のある貴重な植物です。

また、その可憐で気品に溢れた姿から、“晩春の貴婦人”と呼んでいる人もいます。

相模原公園には、この貴重な植物が自生しており、ギンランの生育が保全されていることが確認できました。

#### (2) 行政・関係団体との協働

さがみはら地球温暖化対策協議会の会員となり、市役所・事業者・市民と共に対策部会と調査・研究部会で活動しています。

#### (3) さがみはら環境まつりに出展

6月29日(日)に相模大野のユニコムプラザさがみはらで「さがみはら環境まつり」が開催され、全体の来場者も3,000人を数えるなど大盛況となりました。

当支部のブースにも約150名の方が立ち寄られて、環境カウンセラーの助言内容とその養成講座をパネルとKECAリーフレットで紹介し、それに関連した環境クイズに回答していただきました。



ギンラン



自然観察会の参加者



木村理事長と相模原支部の皆さん

## ISO14001 : 2015 年版の改訂に向けて

横浜支部 石黒芳樹

来年の暮れを目処に、ISO14001 の 2015 年改訂版が発行される。現在は、CD (委員会原案)の段階なので、各項番の詳細について述べることはできないが、MSS (統合版 ISO 補足指針附属書 SL(2013 年版))により、今後発行される ISO については、その骨格が MSS の骨格であることが必要となってくる。そのことから、MSS を読み解いて行くことで、ある程度の方向性が見えてくる。そこで、今回は、MSS から見た新しい規格の要求事項とその傾向について考えてみたいと思う。

現在出ている、CD の項番と、MSS の項番は、既述の通り同じであることから、これらを現在の規格と比較してみると、今回の 2015 年版の改訂では、根本的なストーリーが変わってくるということが分かる。

2015 年改訂版では、これまでのマネジメントシステムでは取り上げてこなかったようなことが、相当含まれる。

例えば、組織の状況 (context)。これまでは方針ありきで進められてきたが、これからは組織の置かれている状況がまず先に来て、その状況をもとにどのように方針や目標を組み立てて行くか、というストーリー性に変ってきている。

これに続き、リスクと機会 (risk and opportunity)。これも、これまでの環境影響評価は、自社の製品やサービスのライフサイクルや、プロセスをもとに行ってきたが、これからは上記の組織の状況を洗い出し、そこから環境影響評価をすることになるので、少し外的要因が入ってくること、そして『機会(opportunity)』が入ることで、今後はより自社の製品やサービスの環境に対する好要因についても評価をし、そこを伸ばして行くための施策が必要になってくる。

これまでの ISO は、どちらかという、『リスクの低減』に軸足が置かれていたので、ともすれば審査のための ISO になってしまい、『紙・ゴミ・電気の三種の神器』に縛られ、やらされ感の中で仕組みを動かして行く、というケースが多かったように思う。縮小均衡の経済下では、三種の神器は減少させることが難しくはなかった。しかし、これからアベノミクスが順調に推移し、拡大基調に経済が動いて行くと、三種の神器はいやおうなしに増加して行くことになる。

これからは、そういう意味で、如何に省エネをしながら、かつ拡大路線に入っていけるか、このような二律背反する条件の中で環境をマネジメントして行かなければならなくなる。

このような中にあり、今回の改訂が進んでいる。すると今回の改訂に対し、考える必要のある事項は、自社の機会をうまく見つけ、そこを継続的に改善しながら仕組みをスパイラルアップさせることとなる。

地球サミットから始まった環境マネジメントシステムに対する取り組みも、そこから 20 年が経過した。2013 年 9 月に発表された IPCC の第 5 次報告書では、2007 年に発表された IPCC 第 4 次報告書に比べ、さらに厳しい状況であることも報告されており、これから環境に対する取り組みは、ますます重要性が増してくる。この中で自社の経済活動 (economy) と環境 (ecology) の融和を図ることが、今後求められてくる。

今回の改訂では、既述の通り、『機会 (opportunity)』という概念が入ってくることになるが、自社の置かれている状況を明確にし、製品やサービスの環境性能の優位性について把握し、それをマーケットに投入して行くことで、より、環境マネジメントシステムは『好循環拡大』に向かって行くこととなる。規格がリリースされるのは、もう少し先になるが、規格のリリースに先立ち、このように、環境に対する好循環のストーリーを考えて行くことが、今、重要なのではないだろうか。



## 会員投稿 (2)

# KECA合唱団がデビュー

横浜支部 杉浦 勲

5月17日(土)2014年度KECA通常総会終了後、波止場会館一階「サラ」において行われた懇親会において横浜支部会員4人による男性二部合唱を披露いたしました。

同合唱団は、昨年末に行われた横浜支部会忘年会の席で、酔った勢いで何人かで合唱したことに端を発し、その後4人が集まり練習を重ねた結果、今回の発表に繋がったものです。

メンバーは高音部が大竹順之、杉浦勲さん、低音部が木村信幸、長安敏夫さんの4人です。練習はネット送信による音階を各自宅での音とり始まり、4月28日は“かなつくホール”音楽室、5月10日は西谷地区センター(保土ヶ谷区)での集中練習に臨みました。長安リーダーの厳しい指導の下、汗をかきながら、喉を擦りながらの練習となりました。

発表曲は皆さんに懐かしく、楽しんでいただくことが重視され、唱歌「朧月夜」「浜辺の歌」の二曲となりました。また発表後「アンコール」のリクエストに応え「砂山」が披露されました。

リーダーの長安さんは「唱歌のような懐かしい歌をみんなで合唱することは楽しいものです。これからも機会を見つけて歌っていきたいと思います。歌の好きなみなさんをお待ちしています。」と団員を募っています。明るく楽しいKECAに向けて、KECA合唱団の活動を期待したいと思います。



左から長安リーダー、木村、杉浦、大竹氏(懇親会で)

## 会員投稿 (3)

# ちがさき市民立太陽光発電所“れんこちゃん3号”が完成

湘南支部 小川 斉

筆者は市民活動団体「NPO法人ちがさき自然エネルギーネットワーク」(略称:ちがさきREN)の理事として活動しているが、その活動の中で茅ヶ崎市内での公共施設等に市民立太陽光発電所の設置及び管理を行っている。

これまで設置した実績としては2009年に茅ヶ崎市民活動サポートセンターの屋根に7.77kWの太陽光発電所「れんこちゃん1号」を設置、その後2011年に茅ヶ崎市こどもセンターの屋根に7.98kWの「れんこちゃん2号」を設置した。発電した電力は自家消費電力として使用し、余剰電力は東京電力に売電している。

設置には市民・事業者からの寄付金とグリーン電力基金の助成金を受けて建設資金とした。また自家消費分の電力はグリーンエネルギー認証センターより設備認定をうけ「グリーン電力証書」を発行し、この証書は環境価値のあるクレジットとして企業に販売している。グリーン電力販売収入は、次の市民立太陽光発電所「れんこちゃん3号」設置費用の一部として使用している。

このたび市民立太陽光発電所「れんこちゃん3号」が完成したのでここで紹介したい。

この発電所はソーラーシェアリングの方式を取り入れた。ソーラーシェアリングには太陽光を農産物と発電で分け合う意味がある。建物の屋根へのパネル設置は面積に限界があり、広い農地を利用できれば農家の副収入にもなる。この方式は長島彬さんが千葉県に実証試験施設を建設していたので、一昨年その施設を視

察、その結果を踏まえて長島さんの協力を得て、茅ヶ崎でもソーラーシェアリングでの市民立太陽光発電所「れんこちゃん3号」の設置となった。

ソーラーシェアリング方式での市民立太陽光発電所は、神奈川県内では初めての試みである。設置場所は市所有の「五郎兵衛コミュニティー・パーク」内の畑の中。これは市民活動団体の「駅と緑と絆の会」が管理をしており、畑では野菜や花々などを育て、その端の田んぼには稲も育てている。

そんな「駅と緑と絆の会」とのコラボレーションで市民立太陽光発電所「れんこちゃん3号」が誕生した。発電した電力は、田んぼの汲み上げ用水中ポンプの動力源等「五郎兵衛コミュニティー・パーク」内の必要電力を賄う他、余剰電力は東京電力に売電している。

「れんこちゃん3号」はこのパーク内の10m四方の畑にパイプで支柱を組み、地上約2mの高さに太陽光パネルを据え付けた。パネルは1枚が150cm×27cmと細長いパネル(70W)で、このパネル72枚は採光を考慮して隙間をあけて設置した。発電規模は5.08kWで想定発電量は5,000kWh/年、水田を潤すポンプに使用する電力を除いても年間約16万円の売電収入を見込んでいる。発電量は定期的に公表する予定である。

設置費用は約130万円で「ちがさきREN」が負担したが、これまでの「れんこちゃん」からの売電収入の積立金、寄付金及び今後の売電収入等により賄う予定である。この5月25日(日)に関係者に集まってもらい、完成後のおひろめ式を行った。現在、順調に発電しており、外部の人たちの見学が可能である。また、現在も寄付金を受け付けているので、ご協力頂ければ幸いです。現地の写真を添付する。



5月25日おひろめ式、参加者集合



れんこちゃん3号と畑の共存

## 表彰

6月11日(水)午前、グランドアーク半蔵門4階富士の間で平成26年度環境保全功労賞等の表彰式が行われ、KECA副理事長高橋弘二氏が代表を務める横須賀「水と環境」研究会が、地域環境保全功労賞(環境大臣賞)を受賞しました。

同研究会は、三浦半島の川を中心に水環境(水質、水生生物、水辺環境)調査を始めて26年になり、研究会独自の活動のほか、行政、他団体との協働・ネットワーク活動など幅広い活動を行っています。

同研究会が中心になって、2002年、公立の学校が5日制になった土曜日を、小中学生に市民活動を体験させようと始めた“すかつ子セミナー”では、毎年40~70人の小中学生が三浦半島の川、丘陵や海で楽しく体験活動を続けています。

また、2000年から始めた小中学校の環境学習出前授業で教えた児童数は5,000人を超え、昨年からは保育園で3~5歳児の「エコ育」を一緒になって楽しんでおり、まずは自分たちが楽しいことが継続の秘訣とのことです。(事務局)



## 事務局だより

## ～環境問題の解決が社会経済活動全体の課題解決に資する～

事務局長 河野健三

この7月に中央環境審議会から上記現状認識のもと、2年前の第4次環境基本計画に盛り込まれた「低炭素・循環・自然共生の各分野を統合的に達成する」ことを具体化する政策の検討結果（意見具申）が発表されました。これまではともすれば個別に行ってきた取組みを統合していくとの考え方なので、KECAの総力を発揮するためのKECA活動の指針になると考えるので、以下に概要を記載します。

環境問題の解決が社会経済活動全体の課題解決に資するとの現状認識のもと、真の持続可能な循環共生型社会の実現を目指す。ビジョンと戦略は次の通り。

## (1) マクロ経済（環境と経済の好循環の実現）

低炭素市場等の環境分野への投資を促進し、環境付加価値に対する消費を一層喚起する等

## (2) 地域活性化（地域経済循環の拡大）

地域内の経済（資金）循環の拡大を目指し、自立・分散型エネルギーの導入による地域内総生産の1割弱を占めるエネルギーの移入額の削減と再生可能エネルギーの移出等

## (3) 健康で心豊かな暮らし

自然の再生にも資する低炭素化や環境リスク低減の取組、生態系サービスの価値を踏まえた新たな地域間・主体間の連携の仕組みづくり等。

詳しくは[http://www.env.go.jp/press/file\\_view.php?serial=24772&hou\\_id=18377](http://www.env.go.jp/press/file_view.php?serial=24772&hou_id=18377) を参照ください。

これらを進めるに当たってはKECAが果たせる役割も大きく、今後の活動の指針として検討していきたい。

## ～KECA全体で行うイベントのお知らせ～

詳細は別途お知らせしますが、予定に入れておいて下さい。

NO	イベント名	実施予定日	開催場所	内容	主担当
1	総合研修会Ⅰ	8月30日（土） 9時～12時	横浜駅東口 フクシア	気象予報士：佐藤元氏の 講演とワークショップ	環境教育委員会
2	バリアフリー フェア	9月20日（土）	横浜ワールド ポーターズ	対外的な KECA の活動 紹介と会員交流の場	実行委員会
3	総合研修会Ⅱ	11月8日（土）	未定	検討中（宿泊研修を1日 のみの研修に変更）	実行委員会
4	市民環境活動 報告会	2015年3月	県民センター	県内市民の環境保全活動 の報告会	環境教育委員会
5	市民活動 フェア	2015年3月 (未定)	県民センター	対外的な KECA の活動 紹介と会員交流の場	実行委員会

## 予 告

## 総合研修会Ⅰのご案内

担当：環境教育委員会

- 日時：8月30日（土）9:00～12:00
- 会場：フクシア（西区社会福祉協議会）会議室（横浜市西区高島2-7-1、横浜駅西口徒歩7分）
- 基調講演：「最近の気象予報について」（仮）  
講師：佐藤 元氏（気象予報士、ビオトープ管理士、こども環境管理士ほか）  
経歴：日本IBM（株）システムエンジニア、早期定年退職  
気象予報士歴15年余、気象関連の研究、実験、出前講座、著述、気象実験クラブ創設等  
神奈川県や近隣都県で出前講座を年5、6回、15年前から独自のウェブサイト運営
- 講演後、参加者はグループに分かれてワークショップ（約1時間）実施予定（詳細は別途）

**新入会員紹介**

**\*池田 浩 (横浜支部、市民部門) \***

□専門分野：昆虫、樹木、エネルギー（電力）

子供の頃から生き物が好きで、6年前に娘が小学生になったのをきっかけに樹木も含めて勉強をして森林インストラクターになりました。

森林インストラクターになってからは、小学校の総合学習授業や、子供向けの野外活動（ジュニアフォレスター教室等）を中心に関わってきました。横浜自然観察の森で毎月行っているインタープリテーションも6年近く続けています。

エネルギー関連の仕事を17年以上しているので、これからも「生き物」と「エネルギー」をキーワードに、子どもたちへの環境教育に携わっていききたいと思います。

**\*齊藤 明朗 (川崎支部、NonEC) \***

□専門分野：水資源（水循環）、環境保全

□抱負：若い世代に地球の許容能力、人が利用する資源は有限であることを認識して、持続可能な生活を心がけるといった環境保全親派を増やしていきたいと思います。よろしくお願ひいたします。

**\*石井澄夫 (県央支部、NonEC) \***

昨年12月に、滋賀県大津市より神奈川県大和市に転居し、現在は県央支部に所属しています。これまで、地球温暖化防止推進員として省エネ啓発活動に参加していましたので、引続き省エネ啓発活動に参加したいと考えています。

県央支部9月度定例会議で、早速、発表の機会をいただき、「簡易型省エネ診断」についてご紹介する予定です。今後ともよろしくお願ひいたします。

**\*加藤忠男 (西湘支部、NonEC) \***

□専門分野：生産技術、環境マネジメント、安全衛生、社員教育等です。

□抱負：企業の改革指導をする中で、形骸化しつつあるEMSやQMS等を見聞し、企業に役立ち地球環境に貢献するEMSの構築を支援するため、EA21の審査人資格を取得しました。このたび環境管理委員会に参加させて頂き、KECAの先輩諸氏とともに環境活動に取り組んで行きたいと考えています。

**[ 会員現況 ]**

	支部名	会員数(人)
1	横 浜	54(+1)
2	川 崎	13(+1)
3	横須賀三浦	5(-1)
4	湘 南	11(-)
5	県 央	20(+1)
6	相模原	12(-)
7	西 湘	12(+1)
	合 計	127 (+3)

注) 2014年7月1日現在 (2月7日比)

**[その他の新入会員]**

・日吉 栄一 (横浜支部、NonEC)

**編集後記**

◇“ニュース”というには色あせた報告もありますが、前号の発行が2月ですのでご容赦願ひたい。◇本号は5月の通常総会後の発行ということもあり、巻頭言の理事長挨拶にあるように、KECA財政の健全化、維持に向け全会員の協力が望まれます。◇会員投稿欄にご注目。3件の投稿があった中で“KECA 合唱団誕生”の報告があり、“環境、かんきょう”とばかりいわずに息抜きに、いや活力のために趣味・特技を活かそう、いいですね。団員も募集しています。◇新年度ということもあって、5人の新入会員があり、抱負が述べられています。既会員も初心忘れず、いっしょに楽しくやりましょう。(高橋弘二)

**[発行] 特定非営利活動法人**

かながわ環境カウンセラー協議会 (KECA)

理事長：木村信幸／事務局長 (広報担当)：河野健三

□ 住所：〒231-0001 横浜市中区新港2-2-1

横浜ワールドポーターズ6階 NPOスクエア内

□ 電話：045-226-5822 FAX：045-226-5825

□ E-メール：[37keca@kke.biglobe.ne.jp](mailto:37keca@kke.biglobe.ne.jp)

□ URL：<http://www1a.biglobe.ne.jp/hama37keca/>

[年会費等振込先]

ゆうちょ銀行 口座番号 00260-9-24711